



MS010-00040 マルチディスプレイホルダーSTD
MS010-00041 マルチディスプレイホルダー

取付け・取扱要領書

この度はマルチディスプレイホルダーをお買い上げいただきありがとうございます。
本書には本製品の取付け・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。取付け前に必ずお読みいただき、正しい取付け、取扱いを実施してください。なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取付けはできません。取付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・仕様・適合車種

品番	仕様	車種	グレード	年式
MS010-00040	非接触充電なし	C+pod (シー・ポッド)	全車	'20.12～
MS010-00041	非接触充電あり			

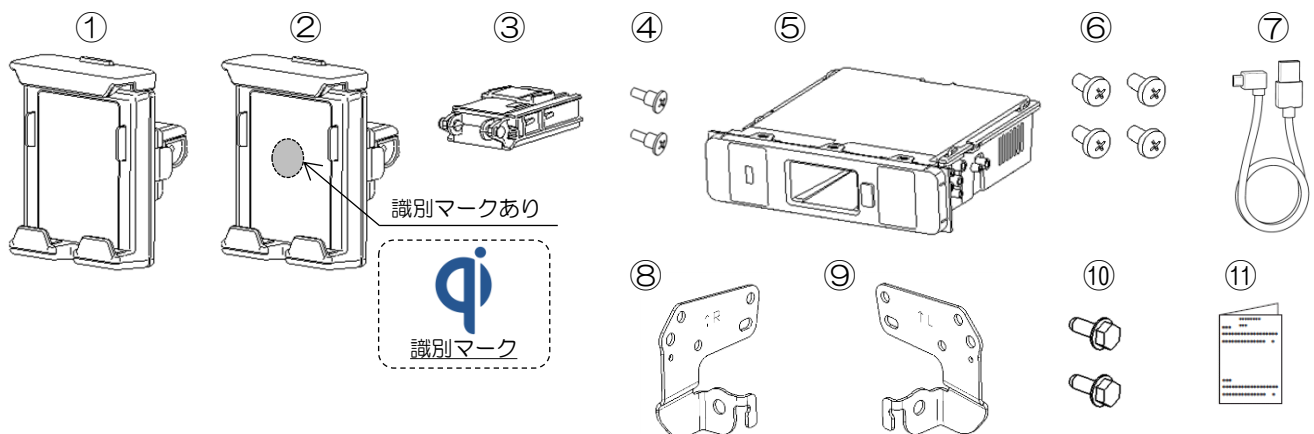
・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品

	部品名	数量		備考
		MS010-00040	MS010-00041	
		非接触充電なし	非接触充電あり	
①	ホルダー	1	—	補給品番： MS010-00037 ※1：非接触充電ありは MS010-00038
②	ホルダー（非接触充電あり）	—	1	
③	角度調整部	1	1	
④	段付きネジ	2	2	
⑤	本体	1	1	
⑥	バインドネジ	4	4	
⑦	USBケーブル	—	1	
⑧	ブラケットRH	1	1	補給品番： MS380-00H15
⑨	ブラケットLH	1	1	
⑩	ボルト	2	2	
⑪	取付け・取扱要領書（本書）	1	1	

※本製品の到着後、すぐに本体に破損が無いこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



- この取付け・取扱要領書には製品を装着～使用する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになり正しくお使いください。
- お客様本人又は第三者の方が、製品及び付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障その他の不具合によって受けられた障害については一切の責任を負い兼ねますのでご了承ください。
- 本製品はDC 12V $\ominus$ アース車専用です。DC 24V車には使用できません。火災や故障の原因となります。
- 自動車の運転中にスマートフォン、タブレット等（以下、端末）の操作をしたり、画面を注視しないでください。端末の操作・確認は、必ず安全な場所に停車させて行ってください。
- 端末の画面を長く見る必要がある複雑な機能の操作、映像の閲覧は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中に画面を注視しないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。
- 端末を装着したまま、自動車内に放置しないでください。高温で端末が損傷する原因となります。
- 「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 安全上、取付け、取扱上のご注意

 危険	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと人が死亡したり、重傷※1を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容について書かれています。
 警告	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと人が死亡したり、重傷※1を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと人が軽傷※2を負ったり、物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

記号の説明

 禁止	してはいけない行為
 指示	必ずおこなっていただくこと
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

<免責事項について>

- ・第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。大切な電話番号やデータは控えておかれることをおすすめします。
- ・当社が関与しない接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

● 安全上のご注意

＜非接触充電ありのお客様へ＞

⚠ 危険

- ⊗ 指定以外の方法で充電しないでください。火災・やけど・感電の原因となります。
- ⊗ お客様による分解や改造、修理をしないでください。
故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品や指定の機器などに不具合が生じてても当社では一切の責任を負いかねます。
- ⊗ 水などの液体を直接かけたり、水やペットの尿などが直接かかる場所や湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。
- ⊗ 火災、やけど、感電、故障の原因となります。その他、雨天・降雪・海岸・水辺などでの使用もご注意ください。水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。
- ⊗ 釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。
発火や破損の原因となります
- ⊗ 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
発火・破裂・火災の原因となります。
- ⊗ 電源は充電用USB端子以外からとらないでください。
USBの定格DC5.0Vを超えた他の電源を使用すると、発熱・発火・故障・感電・けがの原因となります。

⚠ 警告

- ⊗ 落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。強い衝撃による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
破裂・発熱・発火・故障の原因となります。
- ⊗ ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所では充電をしないでください。
ガスに引火するおそれがあります。
所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。
漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。
- ❗ 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている方は、本製品のご使用にあたって医師とよく相談してください。
本製品により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。
- ❗ 充電する端末にカバーなどを装着している場合は取り外して使用してください。
カバーなどの材質や形状、厚み、端末とカバーの間に挟まったゴミなどの異物により正しく充電できず、火災・やけど・けがの原因となります。
- ❗ 本製品上面および端末の電池蓋や背面カバーなどに金属製のもの（金属蒸着のシールなど）を貼り付けしないでください。
発熱による火災・故障・やけど・傷害の原因となります。
- ⊗ 本製品上面と端末の間に、金属製のストラップやクリップなど金属製のものを置かないでください。
発火・火災・傷害の原因となります。
- ⊗ 充電中に本製品を布などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災・故障・傷害の原因となります。
- ⊗ 異臭、発熱、変色、変形など、通常の状態と異なるときは、接続しているケーブルを抜き、使用を中止してください。液漏れや異臭がするときは、窓を開けるなどして換気を良くし火気から遠ざけてください。
漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。
- ❗ 使用状況・環境などにより端末へ充電中に熱くなる場合があります。直接肌に触れたまま使用していると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- ⊗ いたんだUSBケーブルは使用しないでください。
USBケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、束ねたりしないでください。また重いものをのせないようにしてください。芯線が露出したり断線した場合は、必ず新品のUSBケーブルに交換してください。そのまま使用すると火災、感電などの原因になるおそれがあります。
- ⊗ 付属のUSBケーブル以外を使用しないでください。
火災・感電の原因となるおそれがあります。
- ⊗ USBケーブルを引っ張らないでください。
ケーブルが傷つき、感電・火災の原因となる場合があります。
引き抜く場合にはプラグ部分を持ってください。
- ⊗ 携帯機器を充電する場合、安全のため、運転者は運転中に携帯機器本体の操作をしないでください。

⚠ 注意

- ❗ マイクロUSBコネクタの接続は接続方向を確認して接続してください。
発熱・発火・変形・故障の原因となる場合があります。
- ❗ お子様がお使いになるときは、保護者の方が取付け・取扱要領書をよくお読みになり、正しい使い方をご指導ください。また、使用中においても正しい使い方がされているかを確認してください。
- ❗ 通常のゴミと一緒に捨てないでください。
- ❗ 使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。
- ❗ 機器の充電には取扱説明書をよくお読みください。
本製品の取付け・取扱要領書をよくお読みになり、ご使用を開始してください。
- ⊖ 充電中に、充電エリアにクレジットカード・ETCカードなどの磁気カードや磁気記録メディアなどを近付けると、磁気の影響によりデータが消えるおそれがあります。また、腕時計などの精密機器を近付けると、こわれたりするおそれがありますので、近付けないでください。

● 取付け上のご注意**⚠ 警告**

- ⊖ 本製品の使用中に視界やエアバッグの動作を妨げる場合には取付けをしないでください。
交通事故や作動したエアバッグでホルダーの部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。車両カーメーカー、ディーラーに注意事項を確認してください。

⚠ 注意

- ❗ 必ず、付属ネジを使用して、指定どおりに取付けてください。付属のネジよりも長いネジを使用した場合、製品の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。
- ❗ 本製品の取付け、交換作業は必ず専門の整備工場で行ってください。
- ❗ 本製品の取付け、交換に関する車両部品の取扱いは該当車両の修理書に従い、本書の注意事項を守り作業を行ってください。
- ⊖ 本製品を工具でつかんだり、落下させるような乱暴な扱いはしないでください。キズや衝撃により破損や事故の原因となる場合があります。
- ⊖ 部品の取付け、交換の締付け作業時に電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
過度の負荷がかかり、破損や事故の原因となる場合があります。
- ⊖ 本製品を加工・改造をしての取付けは絶対におやめください。
- ❗ 本製品が著しく衝撃を受けた場合は損傷・破損のおそれがありますので、そのまま使用しないでください。

● 取扱上のご注意

- ❗ 本製品には十分な強度、耐久性を持たせてありますが保管状態や走行状況によっては故障が起こる可能性があります。保管や走行、取扱いに際しては十分にご注意ください。
- ❗ 装着後に衝突等の強い衝撃を受けた場合は直ちに使用を中止してください。
- ❗ 走行中に異常な振動や異音を感じたら直ちに安全な場所に停車してください。そのまま走行を続けると重大な事故や破損の原因となる場合があります。
- ⊖ 本製品の表面をシンナー等の有機溶剤で拭かないで下さい。白濁の原因となります。
- ❗ 本製品の劣化を防ぐ為、直射日光のあたる場所での長時間駐車はなるべく避けてください。
- ❗ 汚れは乾いた柔らかい布ですぐに拭取って下さい。その際に強く擦らないように注意してください。
本製品に傷が付くおそれがあります。
- ❗ 汚れのひどい時は柔らかい布を水に濡らし、良く絞った後で軽く拭取るようにしてください。
- ❗ 端末を本製品に取付けて車両走行をする際は、正しく装着した状態で使用してください。急発進、急ブレーキ、カーブ、悪路などの走行時に端末が落下するなどして事故やけがの原因や、端末や周辺の物品に損害を与えるおそれがあります。
- ⊖ 自動車の運転中に端末の操作をしたり、画面を注視しないでください。端末の操作・確認は、必ず安全な場所に停車させて行ってください。
- ⊖ 端末の画面を長く見る必要がある複雑な機能の操作、映像の閲覧は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中に画面を注視しないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。
- ⊖ 端末を装着したまま、自動車内に放置しないでください。高温で端末が損傷する原因となります。

● 取扱上のご注意

＜非接触充電ありのお客様へ＞

- 付属のUSBケーブル、充電用USB端子以外では使用しないでください。
- ❗ 充電は適正な周囲温湿度（温度5℃～35℃、湿度35%～85%）の場所で行ってください。
- 水をかけないでください。防水性能を有しておりません。湿気の多い場所や、雨などがかかる場所での使用はおやめください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。また、ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や印刷が変質・退色するおそれがありますので、使用しないでください。
 端末を充電中、通話やパケット通信・ワンセグ・フルセグなどの受信状態が悪くなる場合があります。
 充電する場合は、通常の充電と比べ、充電時間が長くなる場合があります。
 端末の電源をオンにして待受状態でも充電できますが、その場合充電時間は長くなります。
 端末を充電中にアプリケーションなどが動作すると、充電が完了しない場合があります。
- 端末を別機器などで充電中やPC接続をしている状態で使用しないでください。
- ❗ 磁気カードなどを近づけないでください。磁気データが消える可能性があります。
- ❗ 強い磁気を帯びたものを近づけないでください。誤動作の原因になります。
- ❗ 端末に端末用のカバー・ジャケット・フィルム・シールなどが装着・貼り付けしてある場合はそれらを外してご使用ください。
- ❗ 端末に端末用のカバーやアクセサリを付けるときは、「Qi」非対応のカバーやアクセサリを付けた状態で充電しないでください。カバーやアクセサリの種類によっては充電できない場合があります。充電エリアに携帯機器を置いて充電が行われないときは、カバーやアクセサリをはずしてください。
- ❗ ワイヤレス充電規格「Qi」準拠機器を使用できます。ただし、すべての「Qi」準拠機器と互換性を保証しているものではありません。
- ❗ 一度に複数の端末を充電することはできません。
- ❗ 充電する端末以外のワイヤレス充電対応機器を近づけないでください。
 本製品はデータ通信に対応しておりません。
- ❗ 電子キーをワイヤレス充電器に近づけると、電子キーを検出できない場合があります。電子キーをワイヤレス充電器から離してください。
- ❗ ワイヤレス充電器と携帯機器が温かくなりますが、異常ではありません。充電中に携帯機器が温かくなったときは、携帯機器側の保護機能により、充電が停止することがあります。この場合、携帯機器の温度が十分に下がってから、再度、充電を行ってください。

■ 目次

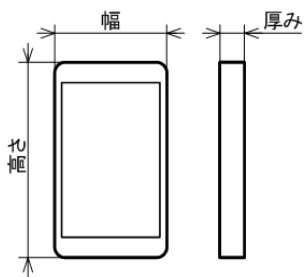
1. 表紙、構成部品表、構成部品図、取付け確認車両	1
2. 安全上・取付け・取扱いご注意	3
3. 目次、取り付けに必要な工具・保護具	5
4. 取付け要領	7
5. 取扱要領	11

■ 取り付けに必要な工具・保護具

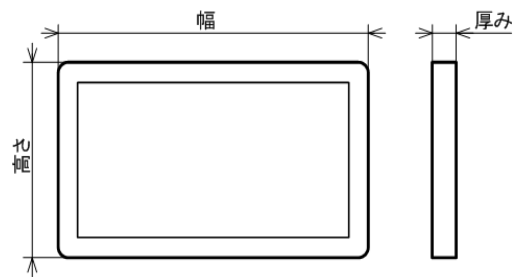
- ・ 一般工具
- ・ 加工用工具（ハサミ、カッター等）、ヤスリ
- ・ 超音波カッター
- ・ 軍手、保護メガネ

● 本製品が対応する端末

スマートフォン（縦置き）



タブレット（ヨコ置き）



高さ : 120~180 mm以下

幅 : 255 mm以下

厚み : 12 mm以下

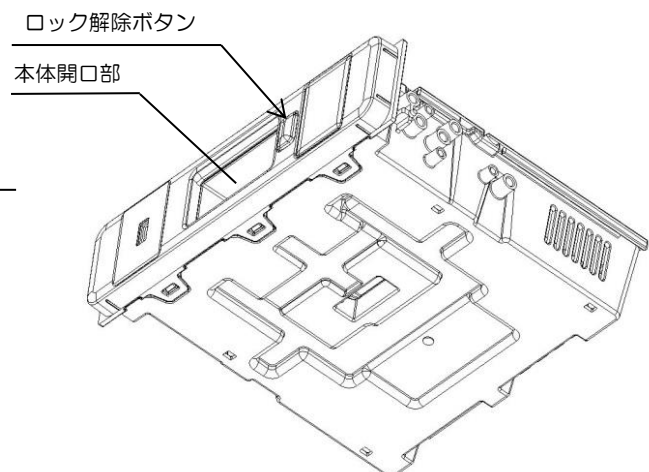
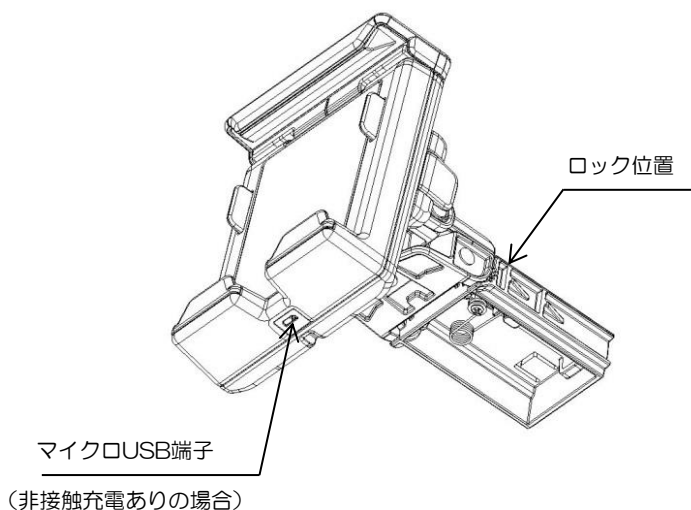
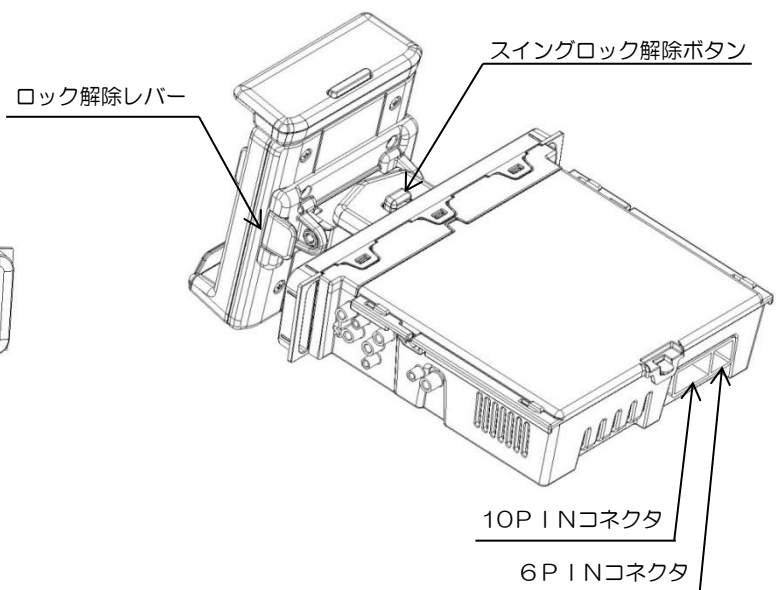
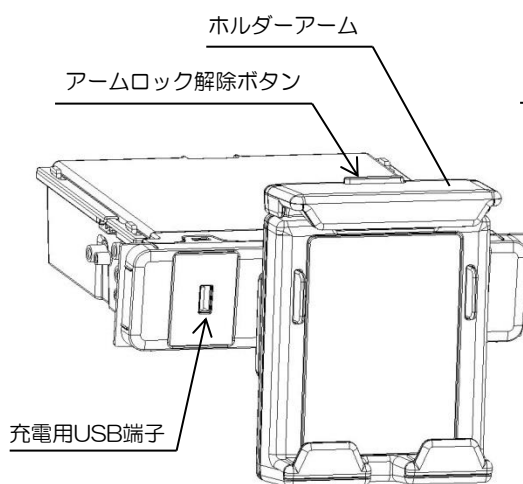
重さ : 500g以下

※端末によっては端末のスイッチなど、突起物が干渉する場合があります。

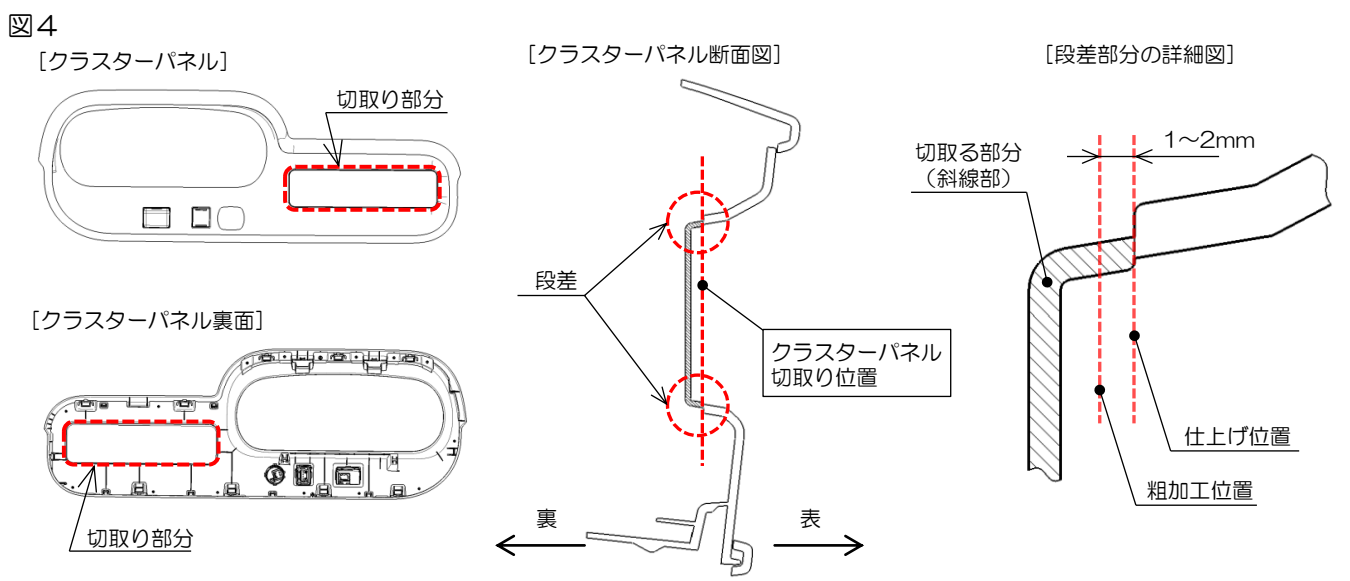
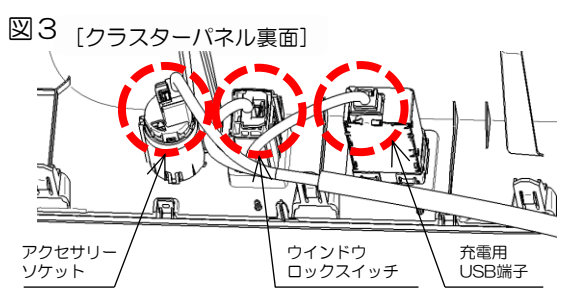
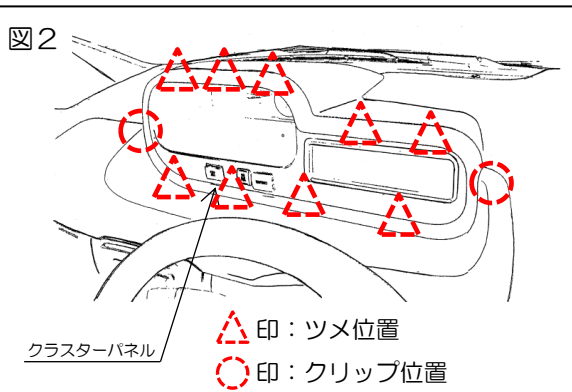
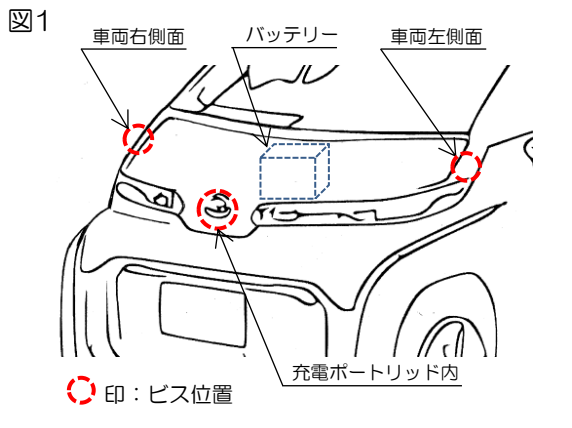
※上記サイズを超える端末を無理に装着しないで下さい。

ホルダーが破損する恐れがあります。

● 各部の説明



■取付け要領



1. バッテリーの取外し

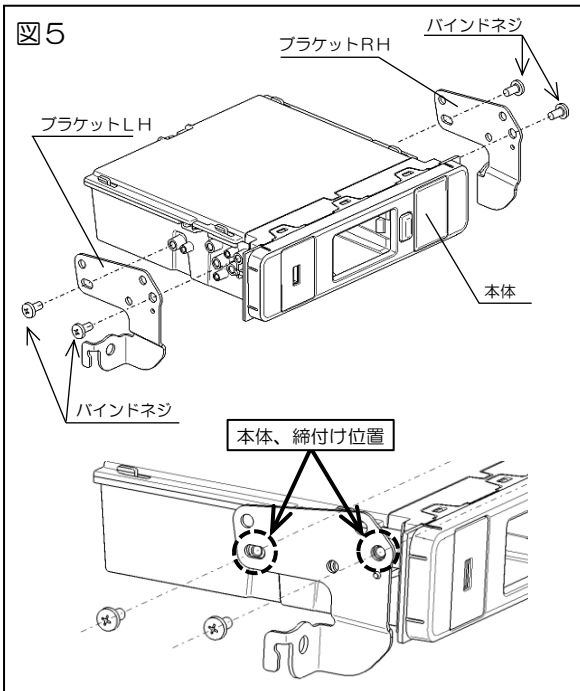
- 図1.を参考にボンネットを固定しているビスを3カ所はずして、ボンネットを取りはずす。
- モータールーム内のバッテリーのマイナス端子を取りはずす。

2. クラスターパネルの加工

- 図2.を参考に、ツメ（9箇所）及びクリップ（2箇所）の嵌合をはずし、クラスターパネルを配線が付いた状態で車両から取りはずす。
- 図3.を参考に、クラスターパネルからコネクターを3カ所（アクセサリソケット、ウィンドウロックスイッチ、充電用USB端子）取りはずす
- 図4.を参考に、超音波カッター等でクラスターパネルの図で示した部分を切取る。（断面図に示したクラスターパネルの段差の位置で切取る）
※ クラスターパネルは1回で加工するのではなく、目標の段差から1~2mm残すように粗加工を行ってから、段差位置まで仕上げ加工を行うと、キレイに仕上げることができます。
- カッター、ヤスリなどで切り口を仕上げる。

⚠ 注意

- 車両部品傷付き防止の為、保護シートの上で作業を行ってください。（以降同様）
- クラスターパネルに不要な形状が残っていると、本体の取付け後に干渉する場合があります。

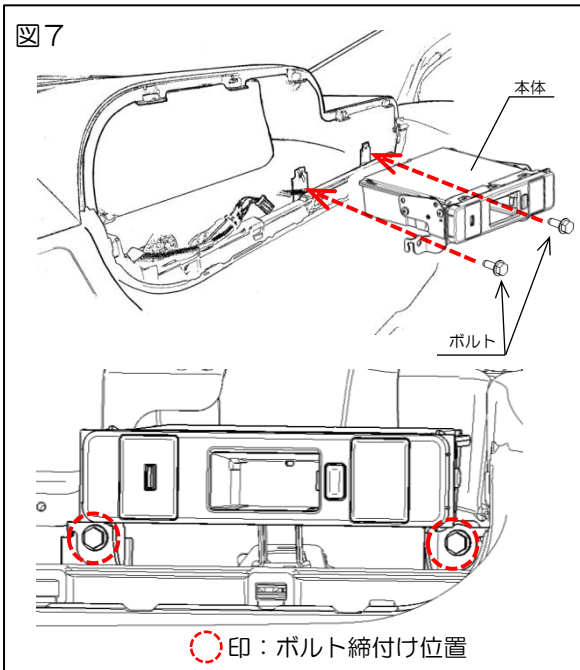
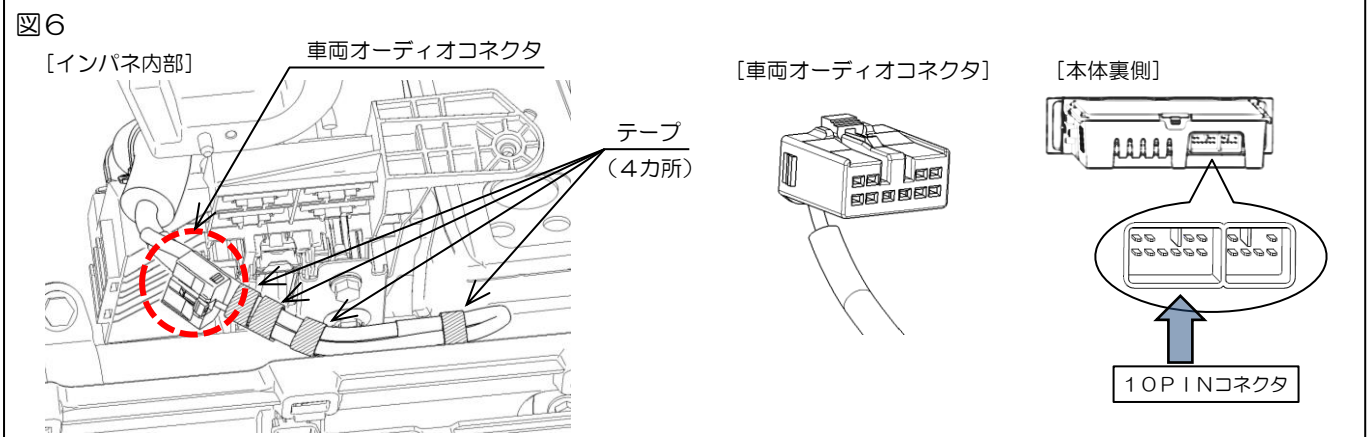


3. 本体の取付け

1. 図5.を参考に、付属の⑥バインドネジ（4個）を使用して、ブラケットRH、LHを本体に片側2点ずつ取付ける。
2. 図6.に示す4カ所のテープを剥がして、車両オーディオコネクタを取り出し、本体裏側の10PINコネクタに接続する。

⚠ 注意

- ・ 図6で指示した4カ所以外のテープは剥がさないでください。
- ・ 車両オーディオコネクタは、しっかり差し込んであるか確認してください。不完全な接続は、車の振動などで抜けてしまうなどの故障の原因となります。



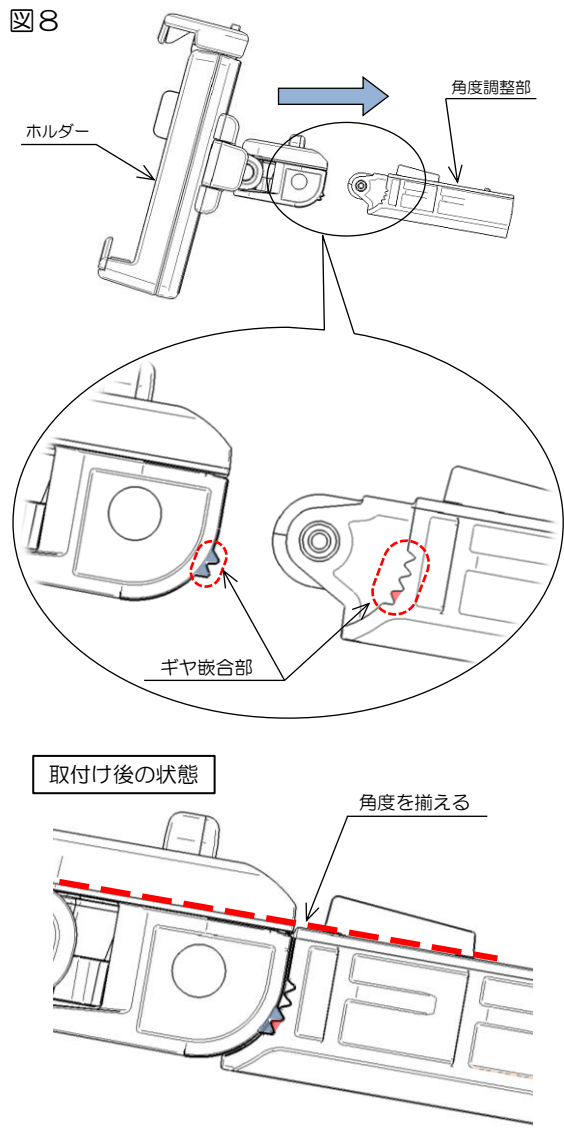
4. 本体の車両への組付け

1. 図7.を参考に、付属の⑩ボルト（2個）を使用して本体を車両に取付ける。
2. 取りはずした車両部品を、取りはずしと逆の手順で元通りに取付けてください。

⚠ 注意

- ・ 車両取付け時は、ブラケットを両側取付けた状態で 本体を仮当てし、ブラケットネジ穴と車両側の穴位置を確認してください。
- ・ 本体を取付ける際、組付けたブラケットで車両を傷つけないように作業してください。

図8



5. ホルダーと角度調整部の取付け

1. 図8. を参考に、ホルダーと角度調整部を、図に示すように角度を揃えて、ギヤ嵌合部を合わせ、仮組みする。
2. 図9. を参考に、付属の④段付きネジを使用し取付ける。

👉 アドバイス

- 角度調整部のギヤ嵌合部の一番下の歯が噛み合っているか確認してください。
- ホルダーと角度調整部を、指定の位置以外に取付けた場合、ホルダーが周辺の部品と干渉する場合があります。

図9

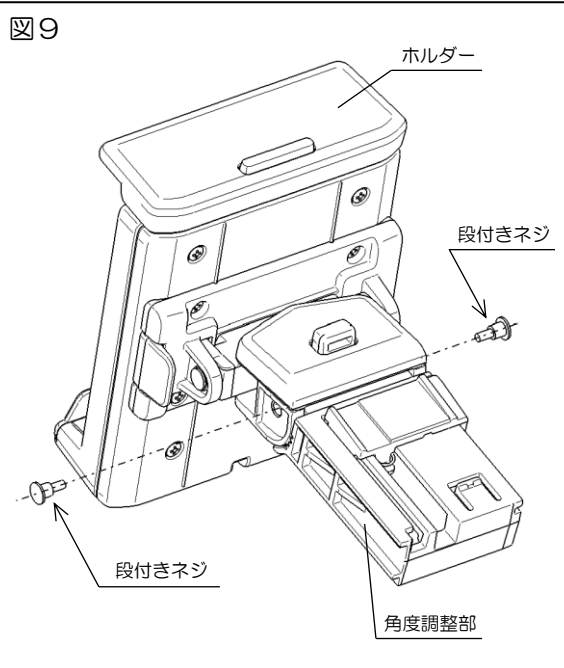
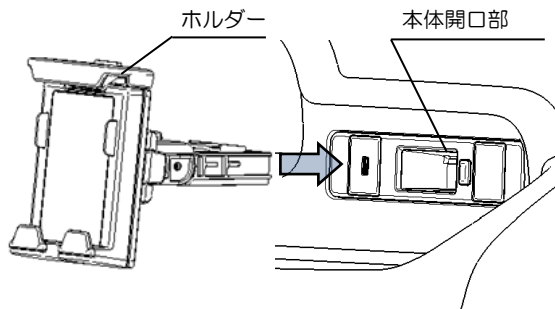


図 10



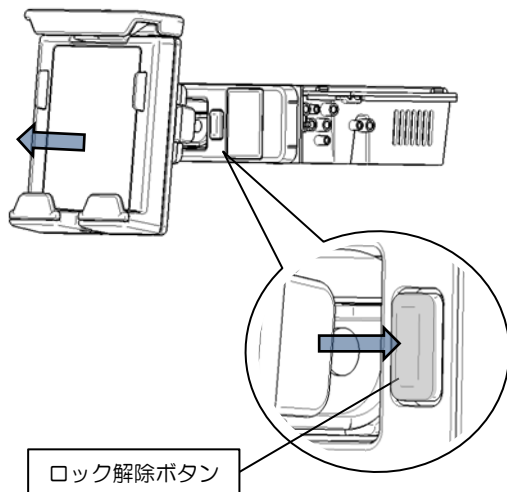
6. ホルダーの取付け

1. 図 10.を参考に、ホルダーを本体開口部に奥まで（カチ、カチと2回ロック音がするまで）挿入する。
2. ホルダーを取外す際は、図 11.に示す、ロック解除ボタンを押したまま、ホルダーを引き抜いてください。

⚠ 注意

- ・ 手前に引っ張り、ロックが確実にかかり、ホルダーが抜けないか確認してください。走行時、振動等でホルダーが外れるおそれがあり、けがや事故の原因になります

図 11

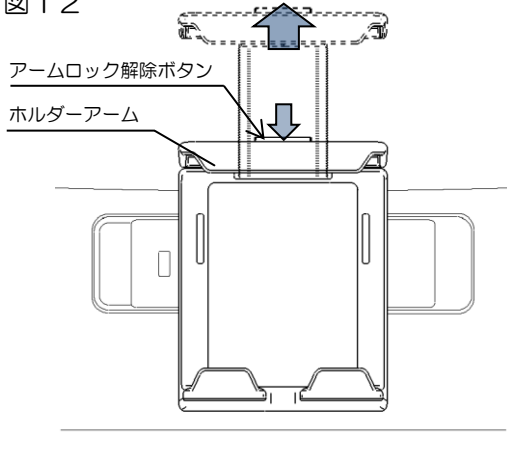


■取付け後の確認・点検

- ・ 取付け作業後は、試走を行い異音、干渉等がないことを確認する。
- ・ 車両取付け後は、定期的に取付け部の締め付け確認、点検を行う。
※車両定期点検時やシーズンチェック時などに行ってください。

■取扱要領

図 1 2



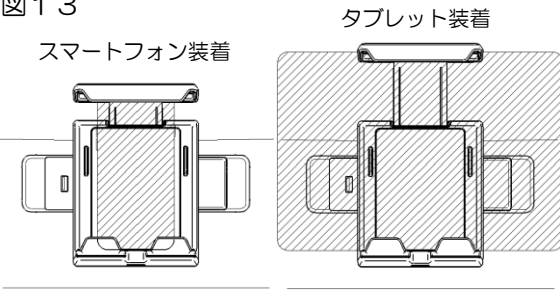
7. ホルダーアーム使用方法

- 図 1 2. に示す、アームロック解除ボタンを押しながら、ホルダーアームを引き上げます。

⚠ 注意

- ホルダーアームは、引き上げ方向にのみロックが掛かる構造になっています。途中でロックボタンから手を放すとその場所でロックが掛かります。
- ロック解除ボタンを押さず無理な力を加えて、ホルダーアームを引き上げないでください。製品が破損し使用できなくなるおそれがあります。

図 1 3



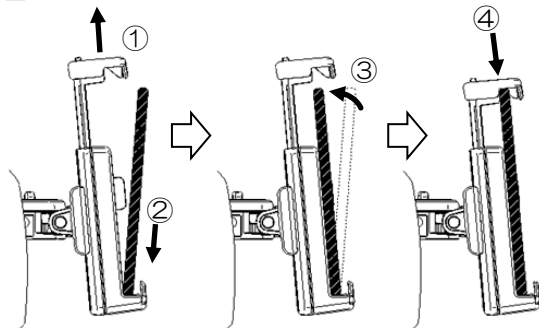
8. 端末（スマートフォン、タブレット等）の装着

- 図 1 3. に示す中央位置に端末を装着します。

⚠ 注意

- 端末が傾いた状態で装着しないでください。
 - ホルダーの中央に装着してください。
 - 複数の端末を同時に装着しないでください。
- ※走行中に振動等で落下するおそれがあり、けがや事故の原因となります。

図 1 4

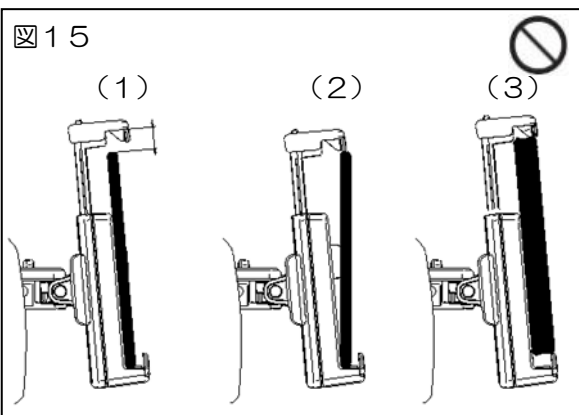


- 図 1 4. の手順で、

- ①ホルダーアームを引き上げる。
- ②端末をホルダーに挿入する。
- ③端末がホルダー奥の壁面に当たるように押す。
- ④ホルダーアームを押し下げ端末を挟むように装着する。

※装着後、端末がホルダーに固定され緩みやグラツキがないか確認してください。

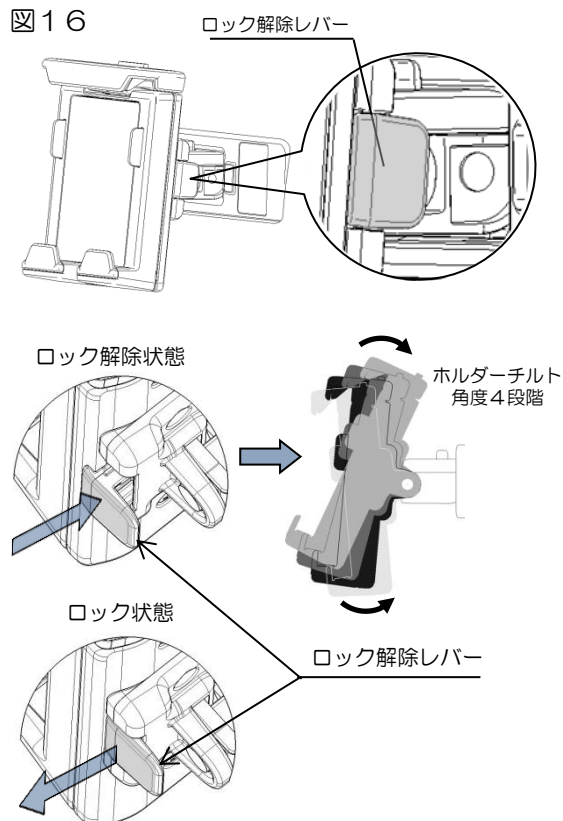
図 1 5



⚠ 注意

- 本製品が対応する端末以外は使用しないでください。
 - 図 1 5. のように、端末がホルダーに収まらない状態での使用は、走行時の振動等で外れる恐れがあり、けがや事故の原因になるため使用しないでください。
- (1) 端末が固定されていない
 - (2) 端末がホルダーアームに引っ掛かっている
 - (3) 端末の厚みが大きく、ホルダー内に収まらない

図16



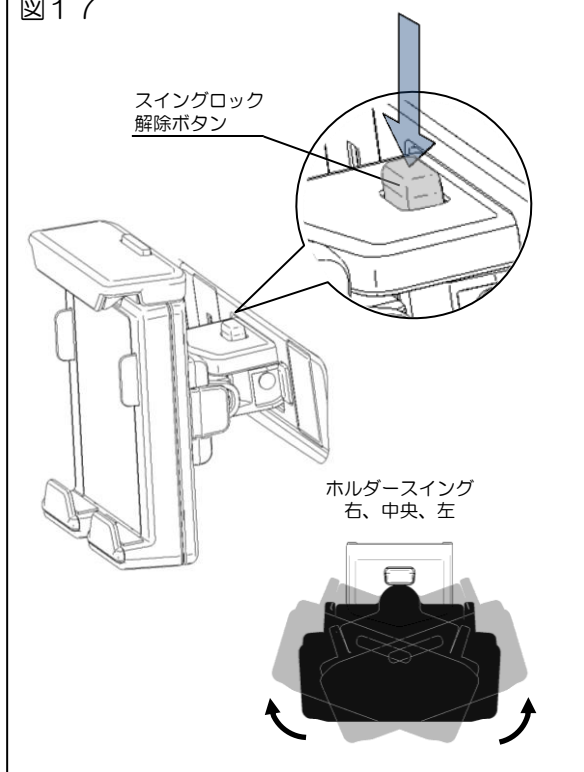
9.ホルダーチルト（上下向き）調整方法

1. 図16.に示す、ロック解除レバーを引きロックを解除する。
2. ホルダーを任意の角度に調整する。
3. ロック解除レバーを戻しロックする。

⚠ 注意

- 無理に動かさずに、必ずロックを解除した状態で操作してください。製品が破損し、使用できなくなるおそれがあります。
- ロックする前に手を放すと、重みでホルダーが下がってしまうことがあります。ホルダーを手で持ったまま、ロックしてください。

図17



10.ホルダースイング（左右向き）調整方法

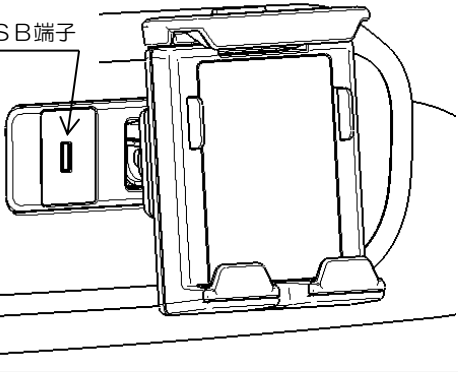
1. 図17.に示す、スイングロック解除ボタンを押しながら、ホルダーを右、中央、左、任意の角度に調整してください。
2. スイングロック解除ボタンから手を放す。（ロックが掛かります）

⚠ 注意

- 無理に動かさずに、必ずロックを解除した状態で操作してください。製品が破損し、使用できなくなるおそれがあります。

図 18

充電用USB端子



11. 充電用USB端子

- ・ 図18.に示す充電用USB端子は、DC5.0V／2.1A（消費電力 10.5W）の電源としてお使いください。
- ・ この充電用USB端子は充電専用でありデータ転送などは行えません。また、使用する機器によっては、正常に充電できない場合があります。ご使用になる機器に付属の取り扱い説明書をお読みください。

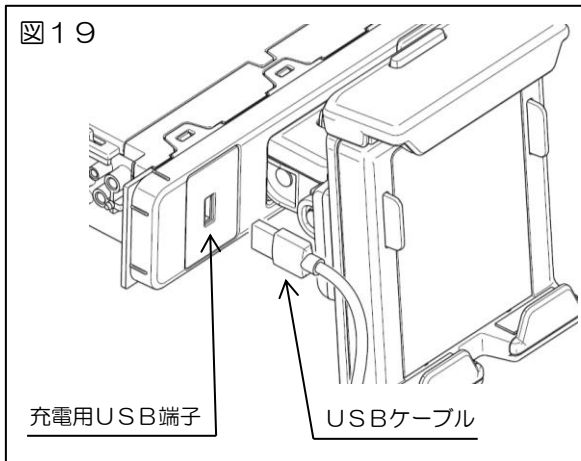
⚠ 注意

- バッテリーあがりをふせぐために
 - ・ エンジンスイッチが“ACC”または“ON”または“アクセサリモード”または“イグニッションONモード”にて使用してください。
- 充電用USB端子が正常に働かないおそれのある状況
 - ・ DC5.0V／2.1A（消費電力 10.5W）をこえる電力を要求する機器を接続したとき。
 - ・ パソコンと通信を行う機器を接続したとき。
 - ・ 接続機器の電源がOFFのとき（接続機器により異なります）。
 - ・ 炎天下に駐車したあとなど、車室内の温度が高いとき。
- 使用する外部機器について
 - ・ 一部機器では、充電中に充電がいったん停止後、再充電を開始する場合がありますが、故障ではありません。
- 充電用USB端子の損傷を防ぐために
 - ・ 端子部に異物を入れないでください。
 - ・ 水や液体をかけないでください。
 - ※端子部に異物や液体が入ると故障やショートの原因になります。
 - ・ 強い力や衝撃を加えないでください。
 - ・ 分解や改造、取りはずしをしないでください。
- 外部機器の損傷を防ぐために
 - ・ 機器を車室内に放置しないでください。車室内が高温となり、故障の原因となります。
 - ・ 機器が接続されているときに、外部機器や外部機器のケーブルを押し下げたり、不要な力を加えたりしないでください。

<非接触充電ありのお客様へ>

■非接触充電の使い方

図19



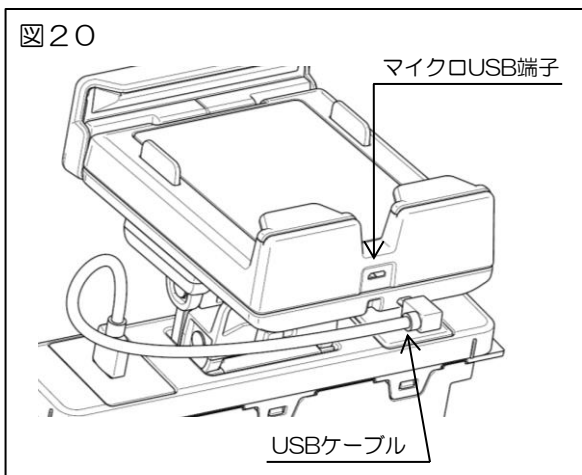
12. USBケーブルを接続する。

- 図19.に示す、付属の⑦USBケーブルを本製品の充電用USB端子に差し込む。
- 図20.に示す、付属の⑦USBケーブルを本製品のマイクロUSB端子に差し込む。

13. 端末を配置する

- 端末をホルダー中央部に置きます。
※端末の充電位置については、端末の取扱説明書にてご確認ください。
- 端末の充電状態を確認します。
※端末が充電されているかについては、端末の通知LEDや電池残量表示などで確認してください。

図20



14. 仕様

- 入力 (DC IN) DC 5.0V / 1.8W
- 出力 5.0W (最大)
- インターフェース マイクロUSB (B) ポート
- 使用環境 温度: 5℃ ~ 35℃
湿度: 35% ~ 85%
- 仕様および外観は、性能改良のため予告なく変更することがあります。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
TRD商品問い合わせ窓口
TEL: 050-3161-2121
<http://www.trdparts.jp/>